

120/140MbpsHDTV コーデック

1986 年 (昭和 61)、120Mbps (インテルサット衛星)、140Mbps (光ファイバ海底ケーブル) の伝送速度で、HDTV 1 チャンネルをデジタル伝送できる HDTV コーデックを開発した。ここで用いられている圧縮技術は、ハードウェア的に極めて簡単ながら効率の高いもので、従来の 1/2 以下の大幅な小型化が可能となり、また、符号化特性として 48dB 以上の高い SN 比が得られ、符号化雑音がほとんど気にならない画質を実現した。これによって、イベントなどの国際中継が手軽に行えるようになった。

出典：KDD 社史